



関係機関向け病院見学会

当院では今年も「関係機関向け病院見学会」を開催しております。

この見学会、来場された方々のアンケートをもとに議論を重ね毎回改善に取り組んでいます。昨年度はそれまでの専門病棟のみの見学会からより多くの病棟を見学できるものにリニューアルしました。加えて今年度は、見学会・講義終了後の質疑応答の時間を情報交換の場へと変更いたしました。

せっかく多くの機関から様々な職種の方に集まっていますので、単に質疑応答の時間にするのはもったいないと考え、各施設で困っている内容や事例を共有し、医療へつながる方法、地域へつながる方法など、あらゆる視点から話し合える場へと変更いたしました。



病棟見学をされた方々からは、「明るい雰囲気のある病棟で今までのイメージと違った」という感想を数多く頂戴しております。患者さんがどのような場で入院生活を送り、退院に向け多職種によるどのような関わりがなされているか知っていただくことこそ、「地域に開かれた、地域とつながる病院」であるための第一歩だと考えております。

退院した患者さんはその後地域で暮らし、周りのサポートやつながりの中で生活していきます。病院・関係機関・家族・地域、それぞれが互いを理解し、連携していくことが求められます。

見学会には50名定員のところ、毎回100名を超すお申し込みをいただいておりますが、患者さんへの配慮から皆様に病棟を見ていただくことができず、約半数の方には講義からの参加をお願いすることとなり心苦しく思っております。

そんな状況ではございますが引き続き見学会を予定しています。皆様のご参加心よりお待ちしております。



Contents

● 関係機関向け病院見学会

● 部署紹介リレー

- ・ 3A病棟
- ・ 事務局

● 光トポグラフィー検査のご案内

● 第2回認知症シンポジウムを開催しました

● 掲示板他



3A病棟(地域移行支援病棟)

3A病棟は平成26年新病院へ移転後、地域移行支援病棟として活動を開始しました。入院患者が長期化しないよう地域移行支援を行うことが役割です。

当病棟では、**地域移行支援チーム**を中心に退院支援の取り組みを行い、平均入院日数が大幅に減少しました。

<地域移行支援チーム>

①退院促進カンファレンスチーム

入院患者さんの病状だけでなく、退院後の生活面について、医師・看護師・精神保健福祉士・心理士・薬剤師・栄養士など、様々な職種の専門性を活かし、地域移行に向けての課題や取り組みを話し合います。

②地域移行支援パスチーム

退院に向けて、患者さんの地域生活に必要なことを地域移行連携パスで確認しながら個別のクライシスプランを患者さんと共に作成しています。

③退院支援プログラムチーム

地域での生活に不安を抱いている患者さんを対象としたプログラムです。退院に向けての意欲向上や動機づけを目的とし「衣」「食」「住」「余暇」をテーマに、グループ学習や外出などを経験するプログラムを行っています。

精神科疾患を持つ患者さんが、その人らしい生活をするには、関係機関など支援する方々の協力と連携が重要であると考えております。これからも患者さん・家族の思いを尊重し、地域生活に自信と希望を持っていただけるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



事務局

事務局には医事課、総務課、経営企画課の三課があり、病院を陰ながら支える業務を行っています。

まず、医事課は外来・入院などの受付業務、診療費の計算、証明書の発行など患者さんに接する機会が比較的多く、親切丁寧な応対をするよう心掛けています。また、電子カルテなど医療情報システムの管理運用を行っており、統計資料の作成や病院経営、医療の質の向上に欠かせない情報などを集計しています。

次に、総務課は職員の給与・旅費等の計算、福利厚生、健康管理、院内保育園の管理などを行っています。医師や看護師をはじめ職員が安心して業務に集中できるように事務手続きなどを迅速正確に行うよう心がけています。

平成29年には新しい院内保育園が完成し、職員や近隣住民のお子さんを預かっており、子供たちが敷地内を散歩するなど、病院全体が明るい雰囲気になりました。

最後に、経営企画課では経営計画の策定、経理事務、物品などの購入、建物の維持管理などを行っています。限られた予算の中で効率的な経営を目指し、少しでも安価に購入できるよう日々調査等を行っています。患者さんが使用する病室などを綺麗な状態で気持ちよく使用していただくために管理も行っていきます。

私たち事務局は病院の運営が少しでもスムーズに行えるよう日々努力し、病院全体を支えていきたいと思っています。



光トポグラフィー検査のご案内



光トポグラフィー検査を外来にて実施しています。平成26年以降、保険診療にて実施可能となった検査ですが、当院は施設基準を一部満たしていないため、自費にて検査を行っています。うつ病と診断され治療を受けているものの、治療抵抗性である方を対象としています。明らかな器質的疾患がある方は対象外となりますのでご了承ください。

検査は近赤外線を用い、頭部の酸化ヘモグロビン濃度をモニターし、被験者には課題（言語流暢性課題）に取り組んでいただきます。

酸化ヘモグロビン濃度の変化パターンによって、うつ病、双極性感情障害、統合失調症の鑑別を行うことが可能とされています。

光トポグラフィー検査のみで診断できるものではなく、あくまで補助診断となりますが、診断を再考する一助となれば幸いです。

検査を希望される方は、主治医にご相談された上で、当院までお電話にてご連絡ください。またその際は『光トポグラフィー検査希望』とお伝えください。

第2回認知症シンポジウムを開催しました

平成30年10月27日、横浜ランドマークタワー25階で認知症に関する講演を開催いたしました。

都立松沢病院院長の齋藤正彦先生には、「周りの人より先に、当事者自身が自身の能力低下を体験することがある」「日常生活の支援において、できないことをさせないケアが必要」等、当事者が体験しているであろう事をお話しいただき、認知症に対する理解を深めることができました。



久里浜医療センター副院長の松下幸生先生には、高齢のアルコール依存と認知症の合併が多いことや、アルコール性認知症は回復の可能性があるため援助者の協力が必要である、といったアルコールのリスクとその対策についてご講演いただきました。



当日は、182名の方にご参加いただき、大いに盛り上がりました。

掲 示 板

平成30年度関係機関向け病院見学会

第6回 平成31年2月21日(木) 精神障害回復への援助 (申込期間 2/1～2/6)

平成30年度依存症シンポジウム

日 時：平成31年3月2日(土) 13:30～16:30

会 場：TKPガーデンシティ PREMIUM横浜ランドマークタワー 25階バンケットルームB

テーマ：「依存症を知ろう ～回復へ向けた支え方～」

第3回 認知症シンポジウム

日 時：平成31年4月27日(土) 13:30～16:30

会 場：よこすか芸術劇場 ヨコスカ・ベイサイド・ポケット 小劇場

テーマ：「認知症のケア ～日々のケア～(仮)」

謹
賀
新
年

ここで一首

来てもらい 見ていただいて 繋がって
見学会は「知り合う」機会

詠み人 はまぐら

旧年中は大変お世話になりました。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

皆様に取りまして良い1年となりますように。